



いちいの会 だより

平成31年
49号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com/>

ICHIINOKAI VOL. 49



新年を迎えて

社会福祉法人いちいの会 総合施設長 清本 健二郎

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より社会福祉法人いちいの会の事業推進に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。関係機関の皆様、地域の皆様、家族会の皆様のおかげで、無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

昨年は日本各地、自然災害で甚大な災害となっている各地の方々には心からお見舞い申し上げます。当法人も台風で入所施設の苑庭で倒木の被害があり、人的被害はありませんでしたが、法人のお祭りを前に早急な対応が必要となりました。また法人内では、利用者の方の高齢化、重度化に対応するため支援、業務の見直し、環境整備等手を尽くしているところですが、やはり人材の確保は困難になっています。

「職員の笑顔で利用者の笑顔をつくる支援」にはやはり職員の仕事に対するモチベーション、満足感が大切になり職員の専門職としての育成に力を入れていきます。

本年も「くすのき苑、ワークショップくすのき、グループホームかえて、のだネット、相談支援センターいちいの木」の各事業所の協力体制、各事業所内のチーム力を持ち「利用者第一の充実した支援サービス」、「地域の期待への対応」という法人理念の下、この仕事にプライドを持ちプロの福祉職を誇れるよう、役職員一同、取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆様のご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



- 目次●
- ◇施設長より…………… 1
- ◇家族会職員合同研修会
ワークショップくすのき
…………… 2
- ◇事業所だより…………… 3
- ◇くすのき祭
職員日記…………… 4
- ◇行事いろいろ…………… 5
- ◇とびくす・行事報告
編集後記…………… 6



家族会・職員 合同研修会

くすのき苑副施設長 戸邊 泰介



台風 24 号の影響で JR 東日本が首都圏在来線を全線計画運休にしたことが記憶に新しい 9 月 30 日、今年度もクレストホテル柏にて、ご家族と法人職員による合同研修会及び懇親会を実施いたしました。

研修内容について、例年は外部から講師の方をお招きしたり、壇上で代表者がディスカッションを行うことが多かったのですが、今回は「仲間を知ろう！」をテーマに、ご家族同士でお子様方のエピソードを紹介しあう時間を設けました。

初めての試みのため、スムーズに進行されるか、各グループのやりとりが盛り上がるか、心配もありましたが、結ばくばらんに話し合うことができました。

果的にはどのグループも時間が足りないというぐらい、

事後のアンケートでも、有意義な交流の時間を持てたことのご感想を多くいただきました。同席した職員も、利用者の皆さんの生い立ちや、寄り添ってきたご家族の思いを直に聞くことができ、大変に多くのことを学べました。

懇親会の部では、より砕けた雰囲気の中、各テーブルで改めて交流を深められていた印象です。

非常な悪天候の可能性もありましたが、幸いにも台風の影響が届く前に、無事に会を終えることができました。ご出席いただいた皆様、ご協力誠にありがとうございました。



ワークショップくすのき

ワークショップくすのき副施設長 大谷 篤司

平成 30 年 10 月 1 日に法人内の移動があり、ワークショップくすのき副施設長、また、共同生活援助グループホームかえで副所長に着任いたしました。

前任の戸邊副施設長から、利用者のことや仕事（内職）のこと、事務処理や事業所として行ってきたことや課題・展望等、事前に引き継ぎを行い、ある程度のことは理解したつもりでした。しかし、いざ着任してみると、一つの仕事の前に、ファイルやパソコン内のデータ探しから始まり、時間を取られ、なかなか仕事はかどりません。覚えの悪い私はいつになったら慣れることができるのでしょうか……。逆に、入所の仕事をきちんと皆に引き継いでこられたらどうかと心配になります。時折、現場をのぞきに行くといつもと変わらぬ元気な利用者や職員に、ホッと一安心です。



いちいの会に入職し、くすのき苑に在籍して 18 年間、事業所間の移動はなく入所施設だけの経験しかありませんでした。通所施設・グループホームに移動し、不慣れな環境の中で、周囲の職員に迷惑をかけていることもたくさんありますが、それを支えてくれる職員がいることと、新たな現場で新たな仕事を覚えることのできる環境にさせてもらえることに感謝です。そして、着任当日、利用者の皆さんに挨拶をしたときに「よろしくおねがいします」「かっこいいー」と温かく迎入れてくれた優しい皆さんにも感謝です。

くすのき苑

第1支援係長 猪野 恭子

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

くすのき苑のお正月は、おせちを食べたり、初詣に出掛けたり、のんびりとした時間を過ごします。初詣で「みんなが幸せになりますように！」と手を合わせる利用者さん。「あなた、絶対幸せになれるよ！」と普段お話している中でもよく言ってくれます。なんてことのない普通の会話、それも一人の利用者さんからの言葉とはいえ、そう言われるといい気分になるものです。言葉の持つ力は大きいとよく言われますが、確かにその通りなのでしょう。夢や目標も、「自分はできる！」と言葉にしているといいそうです。新年に立てる今年の目標、言葉にして口にしてみるときっと叶うのではないのでしょうか。

グループホームかえで

サービス管理責任者 国分 雪江

新年明けましておめでとうございます。

一年過ぎるのはあっという間と言いますが、子供の頃と変わらない季節の流れではあるのに、年を追うごとに早くなっていくように感じます。無邪気に走り回って遊んでいたあの頃の気持ちを考えると、自分の気持ちが先へ先へと急いでしまい早く感じるのではないかと思います。利用者の皆さんとも急がずゆっくりとした時間を過ごし、楽しめる何かを今年も考えていければと思っています。昨年度は、バーベキュー大会に福祉ご招待券で木下大サーカスの観覧をしてきました。どちらも一緒に共感し笑いあえる楽しい時間を過ごすことができました。その一方で、利用者の方の体調面で気になることが多くありました。痛みや変化を感じても、相手に上手く伝えることのできない方もいます。やはり大事になるのが日々のコミュニケーションと観察をすることで、何気ない会話や行動の他にも、食事の食べ方や歩き方など、いつもとの違いを感じることができると思います。そして、その少しの気付きを広めることで、最小限に防げることになると思います。今後も職員、世話人共々、更なるスキルアップをしていき利用者さんたちにより良い支援をしていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

中核地域生活支援センターのだネット

地域総合コーディネーター 五十嵐 孝子

新年明けましておめでとうございます

今年は亥年。亥の年は翌年から始まる次の種の成長に備えて、個人は「知識を増やす、精神を育てる」組織は「人財育成や設備投資、財務基盤を固める」など、外に向けての活動でなく、内部の充実を心がけると良い年だそうです。昨年からはじめた月に1度の勉強会は外部向けではありますが、事例検討は実践の振り返りにはなりますし、講義形式のものは準備していく中で自分たちの勉強にもなっています。今年も続けていくことで地域の皆さんと共に研鑽していければと考えています。毎月第1水曜日の17時半より開催していますので、法人内の他部署の皆様も是非ご参加ください。お待ちしております。

今年も多様な相談に対して真摯に取り組んで参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

相談支援センターいちいの木

相談支援専門員 中村 成彦

新年、明けましておめでとうございます。

相談支援専門員の業務に就き早2年が過ぎ、月日が経つのが早いと感じています。今回は、野田市で抱えている問題を書かせていただきます。野田市には、障害福祉サービス事業所の数が足りていない状態です。受けたいサービスが受けられない方もいます。今年、野田市内にもグループホームが新たに開設する予定はありますが、その他のサービス事業所が野田市に進出しない状態です。もっと様々な事業所が進出するようになれば、今以上に良いサービスが提供できるようになると感じています。しかしサービスが必要な方はたくさんいるため、現状ある事業所で安心して、生活ができるプラン作りを頑張りしたいと思います。



第18回 くすのき祭



実行委員長 田嶋 剛宜

平成30年11月4日(日)、「第18回くすのき祭」が開催されました。前々日、前日と晴天が続き当日の開催は天候の心配なく無事に終わってくれと信じていました。しかし、あいにくの曇り空で雨が降るかもしれない天気予報に見舞われました。全体のプログラムを短縮するという決断をして、無事にお祭り自体は終わることが出来ました。

準備を重ねていた、職員発表と利用者発表を見られなくて残念だったという声が多く、悔やまれる思いがいっぱいです。次年度はぜひとも、今年できなかった分まで元気一杯な発表をお見せしたいと思います。

今年も地域の方々に協力を仰ぎ、関宿郷土民謡保存会とぼたんの会による染みわたる歌声と心躍る踊り、木間ヶ瀬小学校による若さあふれる演奏、関宿高校吹奏楽部による演奏と元気一杯な歌、中国民族楽器二胡奏者真真さんの圧巻な演奏パフォーマンスは聴く人の心に響き渡りました。ステージ以外でも、関宿マスコット「やど助」と、くすのき苑マスコットの「えだまめマン」のコラボレーションが見られ、ゲームコーナーでは魚釣りや輪投げなどお子さんに大人気でした。最後には、豪華景品が盛りだくさんの大抽選会と楽しいイベントが多く、あっという間のお祭りになりました。

協力して下さった、ご家族、ボランティア、地域の方々、未熟な実行委員長を支えて下さった職員の皆様のお陰で終わることが出来ました。心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



職員日記

生活支援員 柳瀬 栞

私は弦楽器の響きが好きで、よくクラシック音楽を聴きます。作曲家が何を思って、何を感じてこの音楽を作ったのか…その時代背景と共に思いを馳せると音楽の深さを改めて感じます。また、作曲家が表現したかったものを楽譜から読み取り音楽として形にしていくなじみは、演奏者としての醍醐味だと思えます。言葉では表現できない位、音楽って深く面白いのです。

クラシック音楽はハードルが高い、難しい…と敬遠されがちですが、そんなことはありません。マニアックな話をした後では説得力がありませんが、TV、映画、CM、カフェ…気にしていないだけで、すごく身近なところでクラシック音楽が流れています。

周りにクラシック音楽が好きという方が少ないので、増えれば良いな…と思います。

ぜひ、身近に流れているクラシック音楽を聴いてみて下さい。きっと心が癒されます。



行事いろいろ

ICHINOKAI VOL. 49

富津 1泊旅行

大自然を感じたい？そうだ！マザー牧場行こう。広大な景色が見たい？そうだ！東京ドイツ村に行こう。というわけで行ってきました。動物たちと触れ合い、素晴らしい景色を一望し、美味しい料理を堪能、二日間通してとても素晴らしい笑顔が見られました。

生活支援員 堀池 豊



鴨川 1泊旅行

暑い夏が過ぎ、気温も丁度良い旅行シーズン。鴨川シーワールドと鋸山、南房総の旅を楽しむことができました。シーワールドでは迫力のあるイルカのショー。鋸山では地獄アイスを食べ、口が真っ黒に…！千葉の端から端への大移動でしたが、長い道中も笑顔溢れる楽しい旅になりました。

生活支援員 清宮 和博



東武動物公園 日帰り旅行

ちょっと出かけるのに心地よい、10月のとある晴れた日。やってきました、東武動物公園。間近で見る象やホワイトタイガーはさすがの迫力。花咲き誇るハートフルガーデンではマルベリーさんにこんにちは。楽しいひと時ありがとう。利用者さんもきっと喜んでくれたはず！

主任生活支援員 秋山 直樹



東京方面 1泊旅行

テーマはずばり「Wタワー制覇！」東京へ1泊旅行に行ってきました。向かった先は東京タワーとスカイツリー、欲張って両方登ってきちゃいました。普段見られない高い景色は眺望満点、足がすくんで下を見られない人もいましたがとても楽しい思い出になりました。

主任生活支援員 山田 宗成



富士山方面 1泊旅行

11月19日～20日、富士山方面に行ってまいりました。富士サファリパークでは接近する肉食獣に大興奮し、草食動物のエサやりでは、皆さん率先して行っていました。2日目の河口湖遊覧船では、富士の紅葉を堪能し、とても癒された旅行となりました。

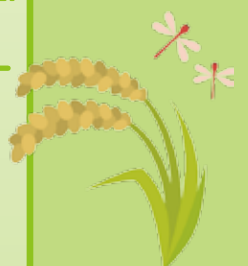
生活支援員 藤川 旭郎



手をつなぐスポーツのつどい

昨年まで10人前後の利用者さんで参加していたのですが、今回は18人の利用者さんと7人の職員で参加してきました。利用者さんはそれぞれ快晴の中楽しめたようで、とても満足気でした。今後も利用者さんが楽しめるイベントを提供出来ればと思います。

生活支援員 森 康滋



長 慎吾さん おめでとう!

生活支援員 張ヶ谷 カツ



第70回記念三軌展(2018) 佳作賞 無 長 慎吾

くすのき苑に入所されている長さんは、お母様と数年前から「さをり織り教室」へ通い、多くの作品を作ってきました。今年の5月に指導してくれている先生の勧めで、第70回三軌会に出展し見事佳作に入選しました。そして今回、賞を頂いた方の中から「選抜精鋭選抜展に出展してみませんか」と再度勧められ、日本橋にあるギャラリー白百合会展示会に出展することになりました。作品は色合いや糸の柔らかさ等、とても素敵でした。入選した方の中には大学の先生方もいる中、長さんの作品が、多くの皆さんと同じ土俵に立ち当選した事は、日々の努力の賜物と思い、とても誇りに感じました。

くすのき苑に入所されている長さんは、お母様と数年前から「さをり織り教室」へ通い、多くの作品を作ってきました。今年の5月に指導してくれている先生の勧めで、第70回三軌会に出展し見事佳作に入選しました。そして今回、賞を頂いた方の中から「選抜精鋭選抜展に出展してみませんか」と再度勧められ、日本橋にあるギャラリー白百合会展示会に出展することになりました。作品は色合いや糸の柔らかさ等、とても素敵でした。入選した方の中には大学の先生方もいる中、長さんの作品が、多くの皆さんと同じ土俵に立ち当選した事は、日々の努力の賜物と思い、とても誇りに感じました。



元気な赤ちゃん産んでねの会

主任生活支援員 増淵 歩美

9月5日から産休に入る職員に、苑の皆から「頑張っ
てね!」のエールとお花を贈りました。会が終わった後も積
もる話は沢山!職員の回りには利用者さんの輪が出来てい
ました。また会える日を楽しみにしています。

行事報告

9月

健康診断、1泊旅行、日帰り旅行
家族会職員合同研修会
家族会環境整備、第3者報告会

11月

くすのき祭、木間ヶ瀬公民館まつり
1泊旅行、手をつなぐスポーツのつ
第3者報告会

10月

法人全体会
1泊旅行、苑内研修
家族会環境整備

12月

1泊旅行、忘年会
苑内研修、第3者報告会
冬季帰省(12/29-1/6)

あとがき

「平成最後の有馬記念」歴代の名馬達を輩出したこのレース。初めて買った馬券がこのレースで思い入れが強い。終わりよければ全てよし。全馬無事にゴールする事を願っている。

(内山)

寒くなってくると鍋が恋しくなる。スーパーに行くたびに目に入るのは白菜やネギ、豆腐などの鍋の具材たち。そんな私は、今1人鍋用の土鍋を購入しようか考え中。

(葛原)

いちいの会だより VOL.49

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 野田市木間ヶ瀬3 1 2 1
TEL: 04-7120-6667
FAX: 04-7120-6668
発行人 総合施設長 清本 健二郎
編集 広報委員会 内山・葛原・中嶋
発行日 平成31年1月吉日
E-mail kusunokien@nifty.com
HP http://www.ichiinokai.com/